



令和6年2月29日

かみせや

横浜市立上瀬谷小学校 学校だより

3月号



上瀬谷小学校教育目標

学び合う子

認め合う子

鍛え合う子

めざしてきた姿

校長 小林 京子

本校の朝会は、しいんとした音から始まります。6年生がいつも一番に体育館に到着し、下級生たちを静かに待っています。他の学年も次々に入ってくるのですが、どの学年も、同じように静かに体育館に入ってきます。このしいんとした音は、自分だけではない「他」を思いやる空気にも感じます。大勢が集まる場、目的を考えた場…、そんな場でのことです。本校が大事にしてきた「日頃から～する」を実行している子どもたちの姿です。

最後の社会見学に出かけた6年生のことです。見学先の「昭和館」という博物館では、グループ行動ではなく、「一人行動」をしました。見たいものや関心があるものが一人ひとり違うことから、自分のペースで自分が見たいものを見る、という意図からです。この一人行動は、自分を律することができないと、周りが気になったり惑わされたりと、実はなかなか簡単ではありません。事前に担任から「友達との会話は学校でもできる。ここでは、自分と展示物の対話をしよう」と指導されていた本校の子どもたちは、ぶれることはありませんでした。他校がグループで楽しそうに入ってきてても、我は我。一人の学習を楽しんでいました。係の方が「すごい子たちですね」と。自律した6年生の姿です。

学校懇話会が開催されました。ここでは、1年間の学びを大人が報告するのではなく、各クラスの代表の子どもたちに話してもらいました。町内会長さん方大人の前で話すのです。メモもなく、子どもたちはその場で質問をされたことについて、自分の言葉で答えます。いくつかの質問の後、「学校での学びはどんなことを大切にしたら楽しくなると考えますか」と聞かれると、3年生から6年生までのクラス代表8名が挙手をし、「自分だけのことを考えるのではなく、相手のことを考えること」「やりたくないと言っている友達の考えも受け入れながら、自分達の目標を決め、そこに向かうこと」「自分のやるべきことを精一杯やること。そうすると、楽しくなった」「自分の意見を聞いてほしくて強めに言ったことがあったけれど、今はみんなの意見が大事だと思える。だからみんなとの話を大事にすること」「自分の考えをいかに伝えるかを考えること」等々ここには書ききれないほど豊かな言葉が出てきたのです。みんなで学習すると困難も出てきましたが、それを乗り越えて身に付けた子どもたちの素直な言葉に、その場にいた大人みんなが感動しました。子どもの学びの共通点は「相手や仲間意識」だったようです。学習の中で思いやりを学んだ姿です。

4月に子どもたちに話した「やさしさと思いやり」「表現」を大切にすることの具現化した姿、まさに、めざしてきた姿がこんなふうに見えてきたのです。

令和5年度も終わりの月を迎えました。間もなく卒業式、修了式です。末筆になりましたが、皆様の日頃の学校の教育活動へのご協力に心より感謝いたします。